記 載 例（教 諭 等）

①～⑨については、表面（１）の記載例を参考に記入してください。
過去の任用歴に関係なく、全員記入してください。

裏面は、全員氏名のみ記入してください。

①

山梨県教育職員給与カード

連絡先 ② －　－（自宅）
－　－（携帯）

ふりがな			職員番号	生年月日	⑤ 年　月　日	本県の正規職員としての採用年月日	R９年４月１日										
氏名	③	性別	④	職名等	校長	副校長	教頭	教諭	養教	講師	助教諭	養助	実講	実助	寄指	栄教	学栄	学事		
改				年月	—	—	—	⑥ —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

採用時の資格	基準学歴	⑦	学歴区分	⑧	基礎学歴	⑨ 高校３卒	勤務校
資格変更　・　・	基準学歴		学歴区分				

学	学校名	卒・修	実修学期間	実修学年月	課程年月	換算率	換算年月
	⑩		～	年　月	年　月	割	年　月 ・

⑩⑪

《初めて任用される方》《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用されていない方》
表面（２）の記載例を参考に記入してください。

《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用された方》
『前回の任用以降の学歴』及び『前回の任用以降に取得した免許』のみ記入してください。

経歴（採用時まで）	職場名	職務内容	実期間	実年月	換算率	換算年月
	⑬		～		割	年　月 ・
			～			
		（計）	・　～　・	・		・

⑬

《初めて任用される方》《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用されていない方》
表面（３）の記載例を参考に記入してください。

《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用された方》

『前回の任用以降の経歴』及び『これまで職歴証明書を提出していなかった経歴で、今回職歴証明書を提出する経歴』についてのみ記入してください。

特記事項 ⑫

⑫は、山梨県で再任用職員としての勤務歴がある方のみ記入してください。

初任給決定

記入不要

記　載　例（教　諭　等）表面(1)

①～⑨については、過去の任用歴に関係なく、全員記入してください。

①【校種・教科】下記のように記入してください。
小学校→「小」　中学・社会→「中・社会」
高校・数学→「高・数学」
特別支援中等部・保健体育→「特中・保健体育」
特別支援初等部→「特小」　養護教諭→「養護教諭」
栄養教諭→「栄養教諭」　実習助手→「実習助手」
寄宿舎指導員→「寄宿舎指導員」

⑥【職名等】
・該当する職名を〇で囲み、その下の年月欄には、上段に「９」下段「４」と記入してください。
教諭採用者→「教諭」　養護教諭採用者→「養教」栄養教諭採用者→「栄教」
実習助手採用者→「実助」　寄宿舎指導員採用者→「寄指」

②【連絡先】
自宅と携帯の電話番号を記入してください。
（自宅電話がない場合は記入不要）

山梨県教育職員給与カード

①	小
② 連絡先	055 － 234 － 5678 （自宅）
	090 － 9999 － 9999 （携帯）

ふりがな	やまなし	たろう		
氏名 ③	山梨	太郎	性別	男
改				

④ 職員番号

職員番号をお持ちの方はご記入ください。
職員番号をお持ちでない方、不明な場合は記入不要。

⑤ 生年月日 S57 年 10 月 1 日　本県の職員としての採用年月日 R 9 年 4 月 1 日

職名等	校長	副校長	教頭	教諭	養教	講師	助教諭	養助	実講	実助	寄指	栄教	学栄	学事		
⑥ 年月	—	—	—	9 — 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

押印不要

採用時の資格	基準学歴 ⑦	大学卒	学歴区分 ⑧	大学専攻科卒	基礎学歴 ⑨ 高校３卒
資格変更 ・ ・	基準学歴		学歴区分		

③【氏名】令和９年４月１日時点での氏名、ふりがな（ひらがなで）を記入し、性別を記入してください。
令和９年４月１日までに改姓が見込まれる場合には、上段に新姓を、下段に旧姓を記入してください。

⑦【基準学歴】
大学卒者・大学院修了者＝「大学卒」
短大卒者＝「短大卒」
高校卒者＝「高校卒」

⑧【学歴区分】
・次の中からあてはまる学歴区分を記入してください。
・特殊教育特別専攻科等を修了した方は、「大学専攻科卒」と記入してください。
（記入例）
「博士課程修了」、「修士課程修了」、「専門職学位課程修了」、「大学６卒」（修業年限６年の大学）、「大学４卒」、「短大３卒」（３年制の短大）、「短大２卒」（２年制の短大）、「高校３卒」

⑨【基礎学歴】
全ての者が「高校３卒」と記入してください。

⑦～⑨共通の注意点
現在、学校等に在学中であり、令和９年３月に卒業見込又は修了見込の方も、見込とは書かず、「卒」又は「修（または修了）」と書いてください。

記　載　例（教　諭　等）表面(2)

⑩⑪

《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用された方》
『前回の任用以降の学歴』及び『前回の任用以降に取得した免許』のみ記入してください。

⑩ 学歴（小卒以降全部）

学　校　名	卒・修	実修学期間	実修学年月	課程年月	換算率	換算年月
山城小		H1・４～H3・３	２年０月	年　月	記入不要	
新田小	卒	H4・４～H7・３	４年０月	６年０月		
甲府東中	卒	H7・４～H10・３	３年０月	３年０月		
甲府東高校	卒	H10・４～H13・３	３年０月	３年０月		
山梨大学	卒	H14・４～H19・３	５年０月	４年０月		
山梨大学専攻科	卒	H19・４～H20・３	１年０月	１年０月		
		～	年　月	年　月		
		～	年　月	年　月		
		～	年　月	年　月		
		～	年　月	年　月		
		～	年　月	年　月		

⑪ 免許資格

免許資格	科　目	取得年月日	免許資格	科　目	取得年月日
小専修		H20.3.24			
中専修	社会	H20.3.24			
高一種	地理歴史	H19.3.24			
特一種	知的	H19.3.24			

特記事項 ⑫

⑫【特記事項】
再任用職員の勤務歴のある方のみ、再任用の期間を記入してください
例）R5.4.1～R9.3.31　再任用（予定）

⑩【学歴】
・小学校からの学歴全てを記入してください。
・山梨県内の学校名は学校名のみで構いませんが、山梨県外の学校の場合には、○○立○○校と記入してください。（例）○○市立○○小　、○○県立○○高校
・国外の学校に在籍していた場合は、国名と学校名を記入してください。
・高校卒業後、大学等に入学するための予備校または浪人中の期間がある場合は、学歴欄ではなく経歴欄（記載例の経歴欄最上段を参照）に「在家庭」と記入してください。
・大学等に在学中に就職し、学歴と経歴の期間が重複している場合は、どちらの欄にも記入してください。

※次のような場合も記入してください。
・大学等で卒業しなかった。
・専門学校や各種学校及び国外の学校に入学・卒業した。
・研究生、聴講生、又は科目等履修生（通信教育も含む）等として在籍した。
・通信教育（卒業・修了）の場合も記入する

［実修学期間］
・在籍した学校ごとに入学及び卒業（修了・退学）年月を記入してください。（日は不要）

［課程年月］
・次の例を参考にして、学校ごとの修学すべき課程の年月を記入してください。
なお、短大、専門学校卒業の場合は正規課程が何年なのか確認し、記入してください。
例１：４年制の大学で１年間休学等した場合、実修学年月欄＝５年　課程年月欄＝４年
例２：４年制の大学に入学したが卒業せずに２年間で中退した場合には、実修学年月＝２年（中退した学年）、課程年月＝４年
例３：学校を途中で転校した場合、実修学年月＝実際に在籍した年月、課程年月＝卒業した学校のみに記入

⑪【免許資格】
・教職員免許法上の免許で同じ校種、科目等の免許を複数所持している場合には上位免許のみを記入してください。
（例：小１種と小２種を所持しているのであれば、小１種を記入）
・取得済のものについては年月日を、取得見込のものについては年月を記入してください。
・特別支援学校教員免許状を所持している場合は、科目欄に領域を記入してください。
（例：視覚・聴覚・知的・肢体・病弱）
・教員臨時免許・看護師免許・保健師免許・助産師免許・栄養士免許についても記入してください。

※過去に山梨県教委で正規・任期付等で任用された経験がある場合、今まで未提出の免許のみ記載・提出してください。
※ここに記載した免許は、免許状の写し（A4サイズにコピー）又は取得見込み証明書（原本）を提出してください。
※教員免許更新制の対象で、更新講習修了者は、「更新講習修了確認証明書」の写しも提出してください。

⑬《令和３年度以降、山梨県教委で正規・代替・期採・任期付として任用された方》
『前回の任用以降の経歴』及び『これまで職歴証明書を提出していなかった経歴で、今回職歴証明書を提出する経歴』についてのみ記入してください。

⑬【経歴】
（１）［職場名］、［職務内容］
・公的・民間、教育関係・一般職等を問わず高校卒業後（最終学歴取得後ではなく）から令和９年３月までの間で、学歴欄に記入していない期間の全てを経歴欄に記入してください。
（高校卒業後から令和９年３月までの全期間を、学歴欄と経歴欄を併せて、必ず月単位で空白期間がないように埋めてください。）
・在学中のアルバイトについては、記入不要です。
・予備校・浪人は経歴欄の上段に「在家庭」と記入してください。
・仕事をせず、学校にも在籍していない期間は「在家庭」と記入してください。

職歴が同時期に重複した場合は、優先順位の高いもの（下表①→②→③）のみを記入してください。
ただし、職歴を給与に考慮する場合は、**職歴証明書（別添）**の提出が必要です。
提出できない場合は、③と同様の扱いになります。

順位	職種等の例
①	・常勤の教員（正規・代替・期採・任期付） ・非常勤講師（勤務時間週30時間以上又は授業時間週15時間以上）
②	①以外で ・正社員又は正規職員（民間企業、公務員等）※共済、社会保険加入期間に限る ・非常勤講師（勤務時間週20時間以上30時間未満又は授業時間週10時間以上15時間未満） ※同時期に複数の学校で非常勤講師として任用されていた場合、勤務時間や授業時間は合算できます。（職歴証明書を各々提出のこと）
③	・正社員又は正規職員のうち、社会保険等非加入期間 ・パート・アルバイト等 ・非常勤講師（勤務時間週20時間未満かつ授業時間週10時間未満） ・在家庭（予備校・浪人・無職等の期間）

※教員の期間は、市町村教委の任用も含みます。
（２）［実期間］
・全て月単位で記入し、学歴欄と併せて空白期間又は重複期間がないように記入してください。

（３）［実年月］　次の例を参考に記入してください。
例１：令和７年５月　～　令和７年９月　＝　０．５（５か月）
例２：令和７年５月　～　令和８年６月　＝　１．２（１年２か月）

・非常勤講師の経歴を給与決定に反映させる場合、職歴証明書が必要です。
（同時に複数校で任用されていた場合は、すべての学校について職歴証明書の提出が必要）

記　載　例（教　諭　等）表面（3）

⑬ 経歴（採用時まで）

職　場　名	職務内容	実　期　間	実年月	換算率	換算年月	勤務校
在家庭		H13・４～H14・３	1・0	記入不要		
（株）〇〇〇〇	営業（正規）	H20・４～H21・３	1・0			
静岡市立静岡中	正規教員	H21・４～H22・５	1・2			
朝日小	代替・期間採用	H22・６～H23・３	0・10			
朝日小	学校訪問調査員	H23・４～H24・３	1・0			
石和中・塩山中	非常勤講師	H24・４～H25・３	1・0			
吉田高	期間採用	H25・４～H26・９	1・6			
在家庭		H26・10～H27・３	0・6			
（株）△△△△	事務	H27・４～R9・３	12・0			

山梨県教育委員会採用の正規・代替・期採・任期付のみ、
職歴証明書・発令通知書の写し等の提出は不要です。

任期付教職員、臨時的任用教職員（期間採用教職員・代替教職員）等として任用されていた場合で、同一所属で連続して任用されていた場合、次の例のように、合算して記入してください。
例１：Ａ学校代替・期採　R5.4.1～R6.3.27、R6.4.1～R7.3.31　→　**Ａ学校　R5.4～R7.3**
例２：Ｂ学校で代替・任期付　代替R7.4.17～R7.7.24、任期付R7.7.25～R9.3.25　→　**Ｂ学校R7.4～R9.3**

〈月のカウント方法の注意点〉
月の中に１日でも任用期間があれば、勤務月として扱います。
（次の例では、平成２６年２月２８日から代替教職員でも実期間は変わりません。）
月の中途で「職種等の例」に変更があった場合には、順位の高いものが優先されます。

H26年２月	３月	４月	
在家庭	代替	在家庭	非常勤講師

～２月９日　在家庭
２月１０日～　代替

～３月２５日　代替
３月２６日～　在家庭

～４月６日　在家庭
４月７日～　非常勤講師

【給与カードの実期間】
在家庭　～26.1
代替　26.2～26.3
非常勤講師　26.4～

記 載 例（教 諭 等）裏面

給 与 記 録 （切替、訂正、昇給、特昇等）								
月 / 年	1 月		4 月		7 月		10 月	
	種別	号 給	種別	号 給	種別	号 給	種別	号 給
9			採用					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								

裏面は、氏名のみ記入してください。

職 員 番 号							

氏名	山梨	太郎
改		

休 職 ・ 休 暇 等				
区 分	期 間	年月数又は日数	換算率	換 算 年月数
	～			

停 職、減 給、戒 告	
(処分内容)	
(処分内容)	
(処分内容)	
(処分内容)	

備 考